

スクエア LCD スピード & タコメーター 取扱説明書

製品番号 05-05-0036

適応車種 XTZ125 (JYM125-9)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎配線コネクタに水分が入り込んだ場合、ショートする恐れがあります。雨天中の走行や洗車時は、配線部に水が掛からないように注意して下さい。
- ◎当製品をお手入れする際には、ガソリンやシンナー等を使用しないで下さい。ラバーや樹脂部品の劣化の恐れがあります。
- ◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

～特 徴～

- XTZ125 専用のスクエア LCD スピード & タコメーターキットです。メーター表示の視認性を確保しながらヘッドライトカウル内に収まります。
- 各種インジケータ類を正常に使用出来るよう、XTZ 専用のサブハーネスを製作。
また専用設計ですので、わずらわしい配線加工も無くカブラーオン、ボルトオンで装着が可能となっております。

！ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

！ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

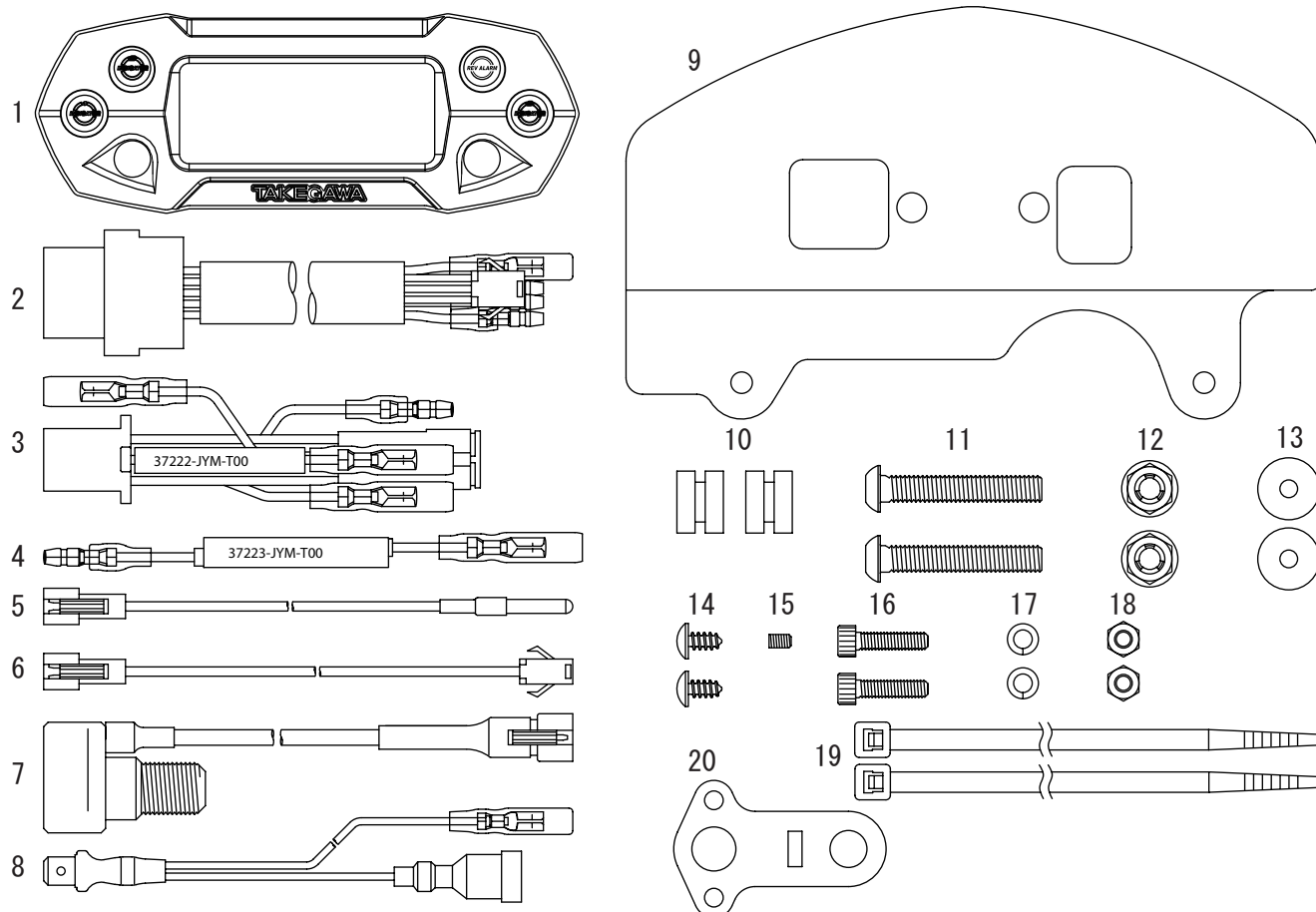
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ご使用上の注意点～

- ◎社外品 H. I. D. キットや他社製 LED ヘッドライトは、バラスト / インバーター(電圧変換装置)からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る場合がほとんどで、製品故障や動作不良の原因となりますので絶対に同時装着しないで下さい。社外品の点火装置(イグニッションコイルやプラグコード)は点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。
社外品の発電装置は充電力の不足により、バッテリー 電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。
- ◎本製品のボディーは樹脂製です。
風化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけて下さい。
炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。
- ◎本製品は完全防水ではありません。
防滴構造ですので雨などの通常の水濡れ程度では内部に水は入りませんが、完全防水ではありませんので水の中に浸すなどすると水が浸入してしまいます。万が一、本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。また、湿度が高い時、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込みパネル内面に曇りが発生する可能性があります。
- ◎絶対に分解しないで下さい。
分解や改造を行わないで下さい。また、お客様で分解された場合、商品修理をお受けする事も出来なくなってしまいます。
- ◎激しい衝撃を与えないで下さい。
オフロード走行やジャンプ、ウイリーなど、メーターに強い衝撃を与える行為は行わないで下さい。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。
- ◎お手入れについて
頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。揮発性のあるもの(シンナー・アルコールなど)やコンパウンドで掃除しますと、パネル等が曇ってしまいますのでご注意ください。
- ◎ヘッドライト OFF での走行禁止 / 保安部品を外したレース用車両
常時点灯のヘッドライトを断線するだけ等の安易な改造によるヘッドライト OFF の状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障し、メーターの最大電圧を越えてしまう可能性があります。ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では悪影響がより強くなります。
ヘッドライトのバルブ球切れの場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて(光軸も調整して)下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。
レース用車両ですべての保安部品を外すには、専門的な知識と代替部品や追加部品が必要となります。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル : 0721-25-8857



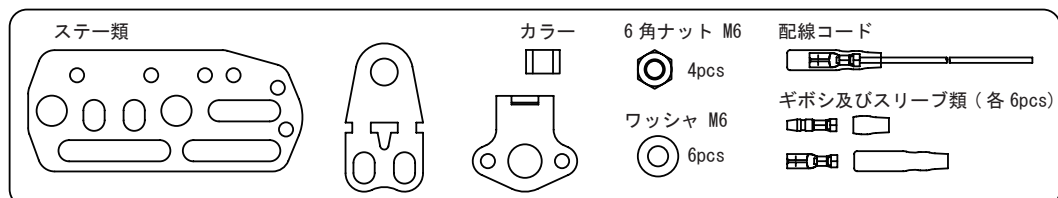
番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	スクエア LCD スピード & タコメーター SQLST1	1	05-05-0006 (セット)
2	メインハーネス	1	00-05-0034
3	メーターサブコード	1	37222-JYM-T00
4	インジケータースubハーネス	1	37223-JYM-T00
5	スティック温度センサー	1	07-04-0551
6	温度センサー連結コード	1	07-04-0522
7	速度センサー	1	05-06-0012 (セット)
8	RPM コード	1	090-00-0063
9	メーターステー	1	37213-JYM-T00
10	ラバー	2	
11	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x25	2	00-00-0126 (5 ケ入り)
12	フランジUナット 6mm	2	00-00-0091 (6 ケ入り)
13	ワッシャ 4x14	2	
14	タッピングスクリュー 4x8	2	
15	ソケットセットスクリュー 3x5	1	00-00-0480 (6 ケ入り)
16	ソケットキャップスクリュー 4x16	2	00-00-0328 (5 ケ入り)
17	スプリングワッシャ 4mm	2	00-00-0399 (10 ケ入り)
18	6 角ナット M4	2	00-00-0398 (10 ケ入り)
19	結束バンド 100mm	2	00-00-0228 (10 ケ入り)
20	速度センサーステーフラットタイプ	1	
	L 型レンチ 1.5mm	1	

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

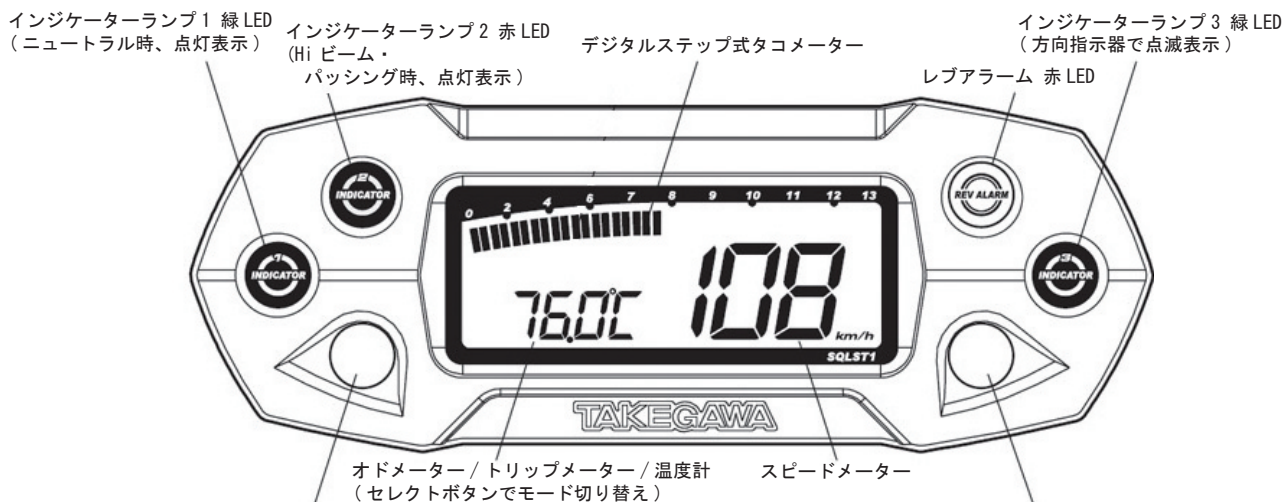
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

上記以外に下記部品が付属しておりますが、本製品では使用しません。ご注意ください。



メーターの表示と機能



●セレクトボタン (S ボタン)

- ・オドメーター/トリップメーター/温度計のモード切り替え
- ・S ボタンと A ボタンを 3 秒長押しで ADJ モードに入ります。
- ADJ モード=各種設定値の変更、調整を行うモード
- ・ADJ モード時: 次項目へ進む

●アジャストボタン (A ボタン)

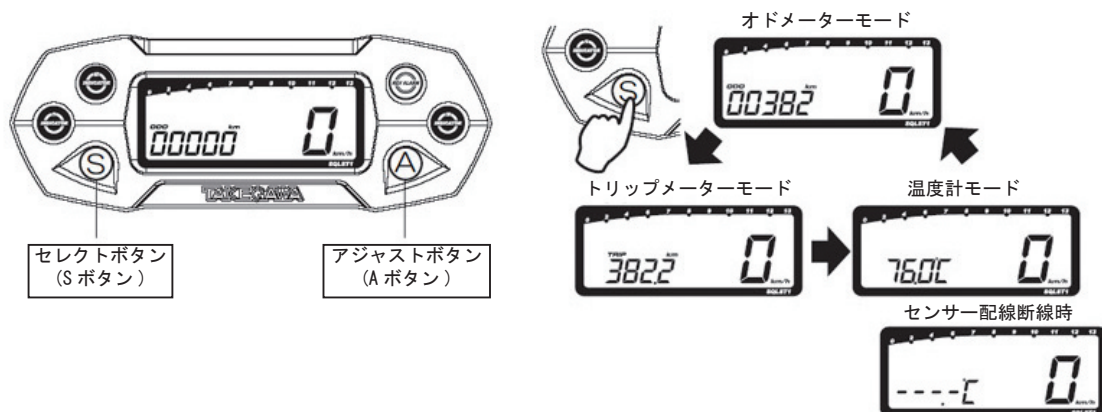
- ・トリップメーター時: 3 秒長押しで走行距離リセット
- ・ADJ モード時: 設定値の変更

スピードメーター	最高表示 360km/h ※ ※オプションの金属反応式速度センサー使用時。 付属の JIS ケーブル式速度センサーの上限回転数は 4200rpm ≒ 180km/h まで。
オドメーター	～ 99999km (1km 単位)
トリップメーター	～ 999.9km (100m 単位) A ボタン長押しで消去
速度誤差補正	速度表示の [ズレ] を補正可能。設定範囲: 300 ～ 2500mm、1 ～ 60 パルス 付属速度センサー標準値: 714mm-6 信号、換算補正範囲: 約 42% ～ 350%
デジタルステップ式 タコメーター	電気式、最高 13000rpm、40 ステップ 0 ～ 6000rpm は 500rpm/1 ステップ、6000 ～ 13000rpm は 250rpm/1 ステップ
レブアラーム	指定回転数に達すると赤色 LED インジケーターが点灯。 設定範囲: 4000 ～ 19900rpm
RPM 信号接続設定	RPM コード接続先の種類。IG モード: 【A 接続】【B 接続】、PC モード: 【C 接続】
RPM 信号回数設定	クランクシャフト 1 回転あたりの信号回数設定。IG モード: 0.5 回、1 ～ 6 回、PC モード: 1 ～ 24 回
RPM 信号種類設定	読み込みプログラムの種類を選択。Hi モード、Lo モード
温度計	測定範囲 0 ～ 120℃
ガソリン計	5 ステップ、100/510 Ω 切り替え可能。配線未接続時は非表示。 ※スクーターなどガソリンセンサーのあるバイクのみ対応の為、当製品では使用出来ません。
3 インジケーター	ニュートラルランプ、警告灯などに利用可能な 3 つのインジケーターランプを装備。 1: 緑 LED、マイナス点灯 2: 赤 LED、プラス / マイナス点灯 3: 緑 LED、プラス点灯
バックライト	オレンジ LED、5 段階の明るさ調整付き。発光ムラが少なく、視認性に優れています。

通常時の操作方法

メーター起動

- キー ON でメーターが起動します。
- ※メーター起動時に 0.3 秒間、“r ※” 表示が出ます (※は数字)。設定データの読み出し中であり、異常を意味するものではありません。
- 前回 OFF にした時のモードで起動します。
- セレクトボタン (S ボタン) で左下がオドメーター→トリップメーター→温度計→オドメーター・・・に切り替わります。

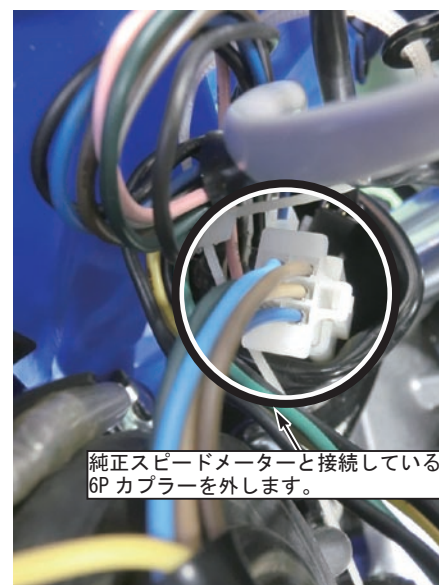
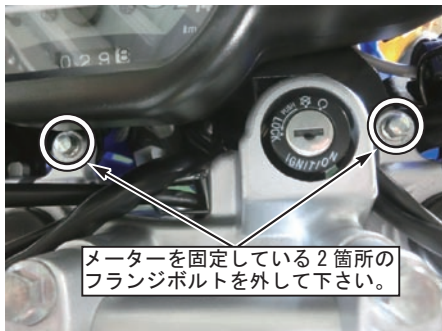


※水平で安全な場所で車両を安定させます。
 ※ショートのある恐れがある為、メインキーが OFF である事を確認します。
 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

1. ライトユニット、サイドカバーを外します。
 ライトユニットの外し方ですが、ライトカバー右側内部にあるフランジボルト (1 箇所) とライトカバー両サイドのボルト (各 1 箇所) を外すとライトユニットごと外れます。



2. メーター下両サイドのフランジボルト 2 箇所を外し、スピードメーターケーブル、カプラー、ハイビーム用配線 (黄色) を外します。

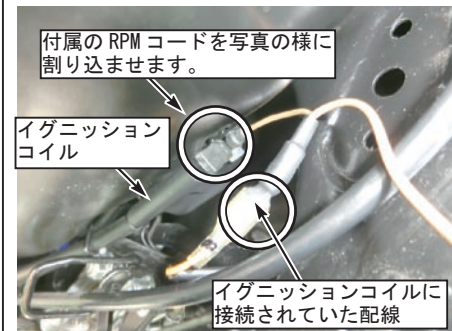


3. メーターステーに付属のラバーを付け、メーター本体を差し込み裏側からワッシャ 4x14、タッピングスクリュー 4x8 で固定します。



4. RPM コード (茶色) を車両側とメインハーネス側に接続します。
 図のように燃料タンクの下側にあるイグニッションコイルに接続している線を外し、付属の RPM コード (平型メス) を差し込み、取り外した配線には RPM コード側の平型オスを差し込みます。

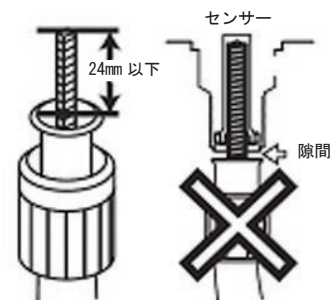
残りの配線 (メスギボシ) はメインハーネスに接続 (茶色) して下さい。その時にワイヤリングした配線をタイラップなどで固定するなどして下さい。



5. スピードメーターケーブルを速度センサーに接続します。プライヤー等を使用し確実に取り付けます。
 付属の速度センサステーフラットタイプとソケットキャップスクリュー 4x16、スプリングワッシャ 4mm、6 角ナット M4 を使用し図のように固定します。

※付属の速度センサーに取り付け可能なスピードメーターケーブルのインナーケーブルの飛び出し量は 24mm 未満 (JIS 規格に基づく形状) となります。

飛び出し量が多いスピードメーターケーブルを取り付けた場合は回転部が激しく磨耗し、正確な速度を認識出来なくなる為、念のためインナーケーブルの飛び出し量を測ります。万が一飛び出し量が 24mm を超える場合は、その部分をカットすると使用出来ます。



6. メインハーネスとメーターサブコード、インジケーターサブハーネスを下記の配線図通りに接続し、カプラーを車両側のカプラーに接続します。

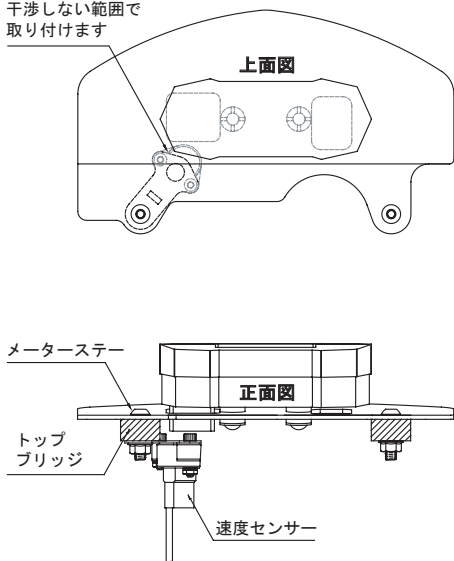
7. メーターステーを車両本体に取り付ける為、付属品のボタンソケットスクリュー 6x25、フランジナット 6mm を取り付けます。
その時に同時に速度センサーも写真又は図を参考に取り付けて下さい。
メインハーネスをメーター本体に差し込み、ヘッドライトカバー、サイドカバーを取り付けて下さい。
(配線類は付属のタイラップを使用し固定して下さい。)

⚠ 注意：インジケータースubハーネスは黒ビニールチューブ内に電子部品が組み込まれているので、折り曲げたり強い力を加えない事。(破損の恐れがあります。)

メーターにハーネスを取り付け後、キー ON して正常に動作するかご確認下さい。



メインハーネスに干渉しない範囲で取り付けます



8. 温度センサー連結コード、温度センサーの接続
・温度計の測定範囲は 0 ~ 120℃です。
・油温計測を行うには、別途オプションパーツのアダプター類が必要です。
ドレンボルト (07-04-0542)
マグネット付きドレンボルト
(02-09-0002 ~ 0005)

温度センサーを適当な位置に固定し、外気温計としての使用も可能です。

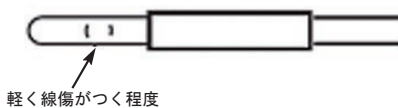
スティック温度センサーを測定箇所に取り付け、温度センサー連結コードを接続し、メーター周辺までワイヤリングをします。

※付属のソケットセットスクリュー 3x5 に脱落防止の為にネジロック剤を少量付け、取り付けます。

※ソケットセットスクリューの締め込みはセンサーに軽く線傷が付く程度で止る事。

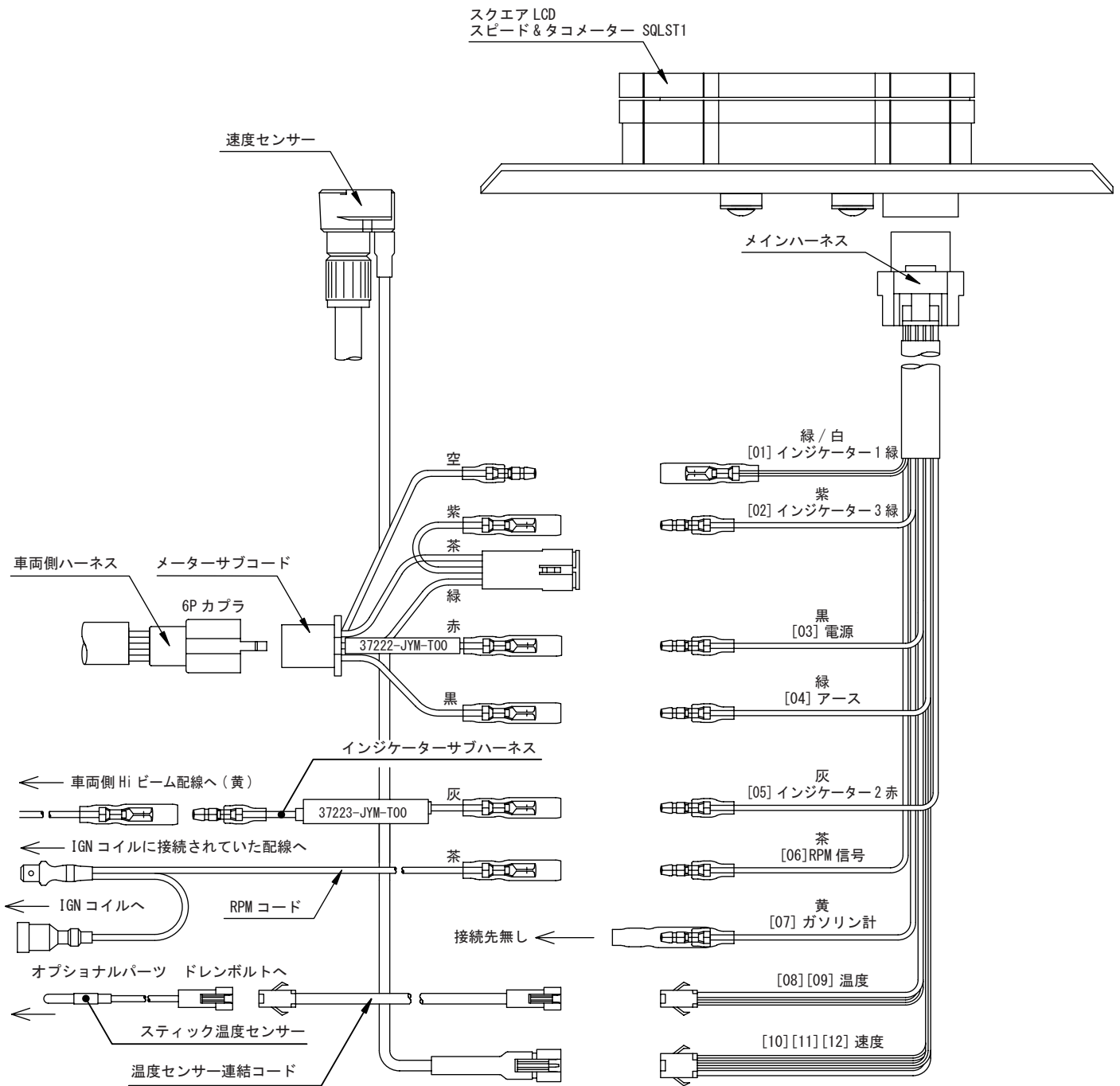
締め込み過ぎによりセンサー部が大きく変形すると内部の電子部品が損傷してしまう可能性があります。

スティック温度センサー



9. 後記のメーターの設定を参考にして設定を行います。

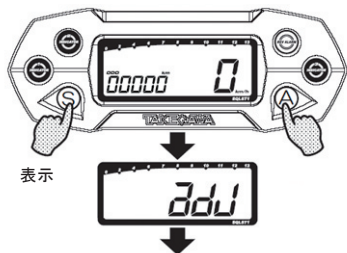
10. 各インジケーターを含め正常に作動するか確認します。



No.	配線色	機能	No.	Color	Function
[01]	緑 / 白	インジケータランプ 1 緑 LED (マイナス接続)	[01]	Green/White	Indicator1 (-)
[02]	紫	インジケータランプ 3 緑 LED (プラス接続)	[02]	Purple	Indicator3 (+)
[03]	黒	キー ON 電源入力 (DC12V)	[03]	Black	Key-on (DC12V)
[04]	緑	メインアース (GND)	[04]	Green	Main GND
[05]	灰	インジケータランプ 2 赤 LED (プラス / マイナス接続)	[05]	Gray	Indicator2 (+/-)
[06]	茶	RPM 信号入力 (パルス)	[06]	Brown	RPM Signal Input (Pulse)
[07]	黄	ガソリン計入力 (抵抗値)	[07]	Yellow	Fuel Signal Input (Ω)
[08]	黄 / 白	温度センサー入力 (抵抗値)	[08]	Yellow/White	Thermo Sensor (Ω)
[09]	緑	温度センサー入力 (GND)	[09]	Green	Thermo Sensor (GND)
[10]	緑	速度センサー (GND)	[10]	Green	Speed Sensor (GND)
[11]	赤 / 白	速度センサー (5V 出力)	[11]	Red/White	Speed Sensor (5V Output)
[12]	茶 / 白	速度センサー (パルス入力)	[12]	Brown/White	Speed Sensor (Pulse)

メーターの電源を ON にします。

メーターの左右ボタンを同時に 3 秒以上押して ADJ モードにし、以下のメーターの設定を行います。



各設定にて S ボタンを 3 秒以上押す、または電源を OFF にすると設定が完了します。

もしくは S ボタンを押して次の設定に移り、最後の温度単位設定後に S ボタンをもう 1 回押すと設定が完了します。



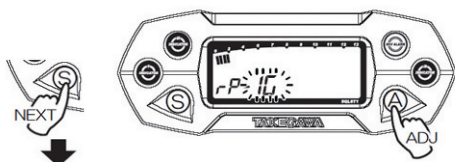
1 レブアラーム設定

A ボタンにてレブアラームインジケータランプ点灯回転数を選択します。
(100rpm 単位で 4000 ~ 19900rpm の範囲にて設定可能。)



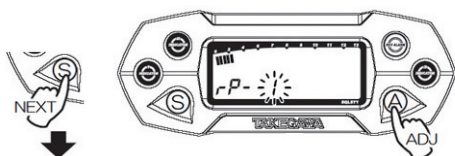
2 RPM 信号設定

A ボタンにて "IG" を選択します。



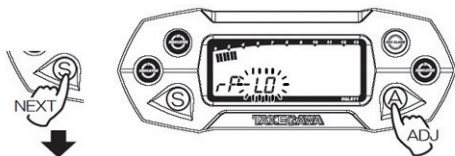
2.5 RPM 信号回転設定

A ボタンにて "1" を選択します。



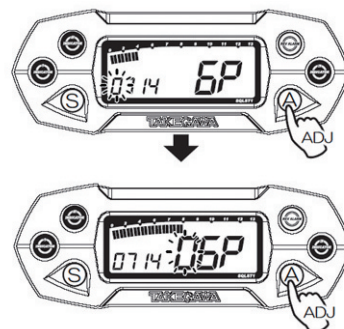
3 RPM 信号種類設定

A ボタンにて "Lo" を選択します。



4 ~ 9 速度補正

スピードメーターケーブル 1 回転あたりにバイクの進む距離を入力します。
ノーマルタイヤまたは同サイズ品にてノーマルメーターギアを使用している場合は A ボタンと S ボタンにて "0", "7", "1", "4" 及び "0", "6" と入力します。



フロントタイヤがノーマルからサイズ変更されタイヤ周長が変わっている場合や、他車種ホイール流用等の場合は次ページを参考に速度補正を行います。



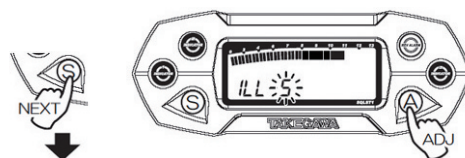
10 ガソリン計設定

設定は行わないので次に移ります。



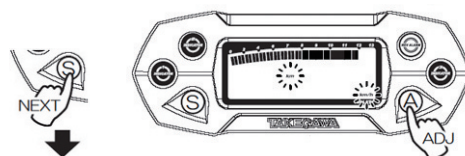
11 バックライト設定

A ボタンにてバックライトの輝度を選択します。
(1 ~ 5 段階にて設定可能。1 が最も暗く、5 が最も明るい。明るく設定するほど消費電力は増加します。)



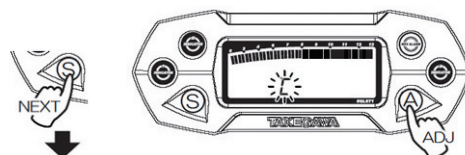
12 距離単位設定

表示が "km/h" である事を確認して次へ。(標準値は "km/h")



13 温度単位設定

表示が "C" である事を確認して次へ。(標準値は "C")



ADJ モード終了

国内車輛は JIS 規格によりメーターケーブル回転数が 1400rpm 時 60km/h と定められおり、これを換算した値が 714mm、6 信号である為にノーマルタイヤ、ノーマルメーターギアを使用している場合のメーターの設定は 714mm、6 信号となります。

他車種のホイール流用などの場合でも、そのホイール用のメーターギアをセットで使用すれば、同様に補正值は 714mm、6 信号になりますが、メーターギアはノーマルを使用しながら、タイヤ周長がノーマルから変化した場合、外品のインチアップホイールに交換した場合、タイヤサイズを変更した場合等は速度補正が必要です。下記方法にて補正值を調べ、入力します。

速度補正值調べ方 1

●メーターギアと現在装着している改造後タイヤ周長から割り出す方法です。

※分解時に破損の恐れがあります。十分に気を付けて作業を行って下さい。

1. メーターギアを分解してギア山数を数えます。

数値 A

ケーブル軸側

数値 B

アクスルシャフト側

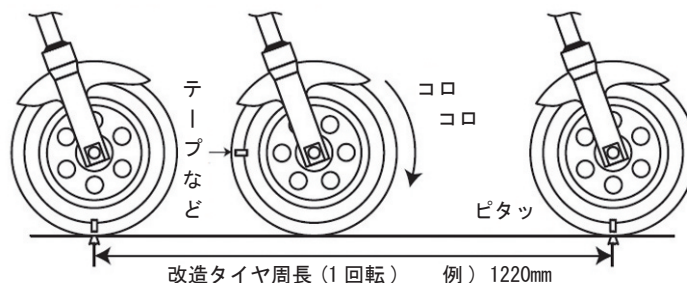


2. テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを 1 回転させてその距離を測ります。

数値 C

タイヤ周長 (mm)

例) 1220mm



3. 下記計算式から値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が“速度信号長さ設定”の値となります。

“速度信号回数設定”は“6”を入力して下さい。

数値 A

例) 8T

÷

数値 B

例) 14T

×

数値 C

例) 1220mm

=

補正值

例) ÷ 697mm

速度補正值調べ方 2

●ノーマルタイヤと変更後のタイヤを比較する方法です。

それぞれのタイヤ周長を測って下さい。

下記計算式から値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が“速度信号長さ設定”の値となります。

“速度信号回数設定”は“6”を入力して下さい。

数値 A

変更後のタイヤ周長

例) 1220mm

÷

数値 B

ノーマルタイヤ周長

例) 1250mm

×

714

=

補正值

例) ÷ 697mm